

社会の勉強のやり方

中学校の中間・期末テストの成績は、社会と理科で決まります。もし、キミの今の成績が全体で100番だとしましょう。次のテストで50番以内に入る、という目標を立てたら、まず、社会と理科を一生懸命勉強してみましょう。

法則 75 : 社会と理科を頑張ると全体の成績が簡単にアップする！

普段の勉強でみんなが力を入れているのは、英>数>国の3教科です。全教科大切なのですが、みんなの意識は、どうしても「英語」と「数学」にいてしまいます。お父さん、お母さんも英語「数学」がとっても大事と言いますし、多くの塾でも、英語と数学をメインに授業を行っています。なぜ、みんなが「英語」「数学」「国語」が大切、と思っているのでしょうか。「社会」も「理科」も、「英語」も「数学」も「国語」も、全て大切な科目なのです。

「社会」を軽く見てしまうのは、小学生のときの教科書の薄さ、授業時間数の少なさに原因があるのかもしれませんが。ただ、よく考えてみてください。中学生になったら、教科書がぐんと厚くなり、覚えることが急に増えてきます。中学で習う「社会（地理・歴史・公民）」は、皆さんが今後生きていく上でも、即、役に立つ必要な事項が網羅されています。中学で学ぶ地理や歴史は、将来キミたちが外国に行って、日本の文化等を英会話で紹介する時に欠かせない基礎知識です。教養ある日本人として、この「社会」という教科書を、ぜひマスターしてください。

また、公民は、私たち日本人が、日本で生活するためのマナーやルール（憲法、法律）を学ぶ科目です。今後、生きていくために、政治や経済も身近なものとして捉え、皆さんが社会人として生活していくための最低限の基礎知識として学習するものが公民という科目です。

法則 76 : 社会は知識の財産である。

1. 教材

教科書（地理、歴史、公民）
線引き教科書（地理、歴史、公民）
資料集、帝国書院の地図帳、歴史年表
学校の地理、歴史、公民のワーク
塾のマスタープリント
地理、歴史、公民の参考書
塾のテキストまたは問題集
受験用まとめ教材（中3）